

「鳥羽市小中学校統合計画（案）（令和3年度～令和12年度）」に対するご意見と考え方

No	箇所	頁	ご意見の概要	市の考え方
1	3. 児童生徒数の将来推計 (1) 小学校児童数等	P.4	「2 複式学級」とは何か分からないため定義を記載してください。	学校の学級数が2つの複式学級のみになることです。「2つの複式学級になる可能性のある年度」に修正します。
2	4. 法令等による学校の適正規模 学級編成の標準	P.6	「2の学年」と「2学年」の違いは何か。同じ意味なら名称を統一、異なるなら違いを明記してください。	「2の学年」に統一し、修正します。
3	4. 法令等による学校の適正規模 学級編成の標準	P.6	「1学級の児童又は生徒の数」の①は「40人」ではなく「40人以下」ではないか。	「40人以下」に修正します。
4	4. 法令等による学校の適正規模 (2) 小規模校の特性と統合によるメリット・デメリット	P.7 P.9	小規模校について、メリットが少ない表現に見せていると感じる。大規模校のメリットが本当に実現するのか不安である。	ここに掲げるメリット・デメリットは学校の適正配置に関して都道府県・市町村が作成している計画等を参考に文部科学省において作成したものです。すべての学校が規模に応じてこのようになるものではなく、一般的な傾向として示しています。
5	4. 法令等による学校の適正規模 (2) 小規模校の特性と統合によるメリット・デメリット	P.7 P9	ここでの「小規模校（小規模化）」とはどのような学校をイメージしているのかが分かりません。例えば複式学級のある学校と一学年一学級の学校ではメリットも違ってきますし、単純に大と小に分けることに意味があるとは思えません。	ここに掲げるメリット・デメリットは学校の適正配置に関して都道府県・市町村が作成している計画等を参考に文部科学省において作成したものです。すべての学校が規模に応じてこのようになるものではなく、一般的な傾向として示しています。

6	<p>4. 法令等による学校の適正規模</p> <p>(2) 小規模校の特性と統合によるメリット・デメリット</p>	<p>P.7 P9</p>	<p>小規模化のデメリットと大規模化のメリットは強調されていますが、それならば、なぜ本計画では小学校を小規模校として残していく方針なのかという説明が付きません。小学校と中学校を表で分けて、小学校は小規模化のメリットを強調して、中学校は大規模化のメリットを強調するような書き方にすべきではないでしょうか。</p>	<p>ここに掲げるメリット・デメリットは学校の適正配置に関して都道府県・市町村が作成している計画等を参考に文部科学省において作成したものです。すべての学校が規模に応じてこのようになるものではなく、一般的な傾向として示しています。</p> <p>また、計画案(P11)に、小中学校の適正規模・適正配置についての方針を示しています。</p>
7	<p>4. 法令等による学校の適正規模</p> <p>(2) 小規模校の特性と統合によるメリット・デメリット</p>	<p>P.7 P9</p>	<p>大規模化のデメリットとしてタイムリーな問題である「教員の長時間労働」「教室内での3密」を追記してください。</p>	<p>ここに掲げるメリット・デメリットは学校の適正配置に関して都道府県・市町村が作成している計画等を参考に文部科学省において作成したものです。すべての学校が規模に応じてこのようになるものではなく、一般的な傾向として示しています。</p>
8	<p>4. 法令等による学校の適正規模</p> <p>(2) 小規模校の特性と統合によるメリット・デメリット</p>	<p>P.7 P9</p>	<p>公立小学校の1学級あたりの上限人数を35人とする法改正案が閣議決定され、少人数化の流れが加速しています。このような状況において、小規模校(化)は政府の教育方針に合致しているという大きなメリットがある。</p> <p>また、集落が離島や沿岸部に点在する地理的条件からICT教育やリモート教育に適した環境であることをアピールすべきである。</p>	<p>国が進める公立小学校の1学級の児童数を35人以下にする学級の少人数化は、子ども一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導体制と安全確保のために進められることであり、学校の小規模校化を推進するものではありません。</p> <p>鳥羽市の現状は、1学級の児童数が35人を超える学級は少なく、少子化の中で少人数化が進んでいる状態です。また、すでに小学校8校のうち4校では2の学年(児童数16人以下または14人以下)で編成する複式学級が存在します。</p> <p>ICT教育・リモート教育の推進については、子どもたちの学校での学習の基本は対面による学習を基本とします。今回、整備を進めたGIGAスクール構想による一人一台のタブレット整備の利点は、ご提案のとおり離島における荒天時の学習機会の確保や学校間の交流促進など、他の地域にはない成果や効果が期待できます。</p>

9	4. 法令等による学校の適正規模 (3) これまでの学校統合	P. 10	「表4」ではなく「表10」	「表10」に修正します。
10	5. 本市における適正規模・適正配置について ■小中学校の適正な学級数	P. 11	「神島中学校は(中略)「当分の間」統合しない」とあるが、「当分の間」という言葉があいまいでわかりにくいと感じます。明確な基準があるべきではないでしょうか。	神島の地理的条件や公共交通機関の状況から、現状においては学校統合には適さないため、具体的な期間でなく、「当分の間」と表現しています。
11	8. 統合再編において検討すべき事項 (1) 通学路の安全確保	P. 13	学校から離れている学生が部活動を行った上で、安全に自転車で下校する対策があるのか、具体策や進捗について知りたい。また関係機関に相談はしているのか知りたい。安全が確保されない上での統合には納得できない。	学校統合に向けては、国道や市道等の歩道整備や危険箇所の解消等に協力し、安全を確保に努めます。また、加茂中学校の統合に向けては、市道の拡幅及び歩道整備等について要望し、市建設課など関係機関との調整を進めています。
12	8. 統合再編において検討すべき事項 (1) 通学路の安全確保	P13	「安全に登下校できる環境整備に最大限取り組むことを前提に進めます」という大きな表現でなく、長岡、加茂、答志からの登下校の具体的な通学路の問題点と安全確保に向けた取り組みを明記していただきたい。	学校統合に向けては、国道や市道等の歩道整備や危険箇所の解消等に協力し、安全を確保に努めます。また、加茂中学校の統合に向けては、市道の拡幅及び歩道整備等について要望し、市建設課など関係機関との調整を進めています。
13	8. 統合再編において検討すべき事項 (3) 学校再編に向けての施設整備等	P13	統合時期が明示されているが、具体的な施設整備に向けた長寿命化計画(案)を明示していただきたい。	学校の各施設の長寿命化計画については、今年度(令和2年度)策定に向け、業務を進めているところです。
14	その他		加茂地区で行った加茂中学校の統合に関するアンケート結果の公表はいつ行うのか。また、アンケート結果は今回の鳥羽市小中学校統合計画(案)に反映されているのか。	当該アンケート結果については、鳥羽市ホームページ上に公開しています。アンケート結果は、本統合計画に基づく地域との協議を行う際の参考としていきます。

15	その他		<p>菅島小学校は令和4年度に学級数が2となり、その場合は教頭先生を含めた担任数を2としなければいけないという問題があります。翌年度以降はまた学級数3がしばらく続くため、この年度のみ、特別に教員を増員するなどして対応してほしい旨を菅島地区での統合協議会の中でお願いしました。これを本計画の中に明記してください。</p>	<p>教員の配置については、今後の状況を見ながらの検討課題とさせていただきます。</p>
16	その他		<p>加茂中学校の統合については、7割が賛成だから統合するという考えでなく、3割の反対・心配する意見を客観的に精査して結論を出していただきたい。</p>	<p>将来の鳥羽市を担う子どもたちのための計画としていますので、多数決で進めることは考えていません。今回の加茂中学校の統合に関するアンケート結果については、統合計画に基づく地域との協議の際の参考としていきます。統合に向けては、不安のある子どもや保護者、地域の方々の意見を聞きながら進めたいと考えています。</p>
17	その他		<p>この統合計画の生徒数の推移は、自然減を考慮して作成されている。市の取組として、子育て応援、移住定数策を強化して取組み、毎年、市内での出生数、子育て世代が増える目標を立てて、生徒数の確保を実施していく旨の対策等の記述をしていただきたい。</p>	<p>本統合計画においては、今後の少子・高齢化、社会の変化や子どもたちをめぐる状況の変化を予測することが難しいことから、現在の出生数と推計に基づき、将来の学級数等を算出しています。今後は、状況を見極め必要に応じて見直すこととしています。</p>
18	その他		<p>施設整備及び通学路の安全確保のための整備工事などが、未完成のままでは統合は行わないことを明記してください。</p>	<p>学校統合に向けては、通学路の安全確保のため、国道や市道等の歩道の整備や危険箇所の解消等に協力し、安全を確保した上での計画的な学校統合に努めます。また、加茂中学校の統合に向けては、市道の拡幅及び歩道整備等について市建設課など関係機関との調整を進めています。また、現在策定中の学校の長寿命化計画等に基づく施設整備を計画的に進めていきます。</p>

19	その他		<p>学校が減ることで地域の活気が無くなってしまふであろうことは残念ですが、保護者の気持ちになると子どもたちにより良い教育環境を与えるための統合は良いと思います。保護者以外の地域住民が圧倒的に多い中で、本来子どもたちの一番に考えているはずの保護者の声が届きにくくなることを懸念しています。話し合いの際には、その点に留意していただきたいです。</p>	<p>本計画に基づく学校統合に向けては、対象となる学校の保護者や地域との協議や意見交換を十分に行いながら計画を進めていきます。</p>
20	その他		<p>鳥羽市学校通学区審議会会議録を拝読し、計画策定の苦勞と適切に話し合われている様子がわかります。今回の計画が速やかに適切に施行されるようお願いします。</p>	<p>本計画に基づく学校統合に向けては、対象となる学校の保護者や地域との協議や意見交換を十分に行いながら計画を進めていきます。</p>